

清らかな源流の里 県南農林だより

第12号



たんぼアート
「白河だるま」

■新生運動県南地方推進本部会議を開催

7月1日(金)、白河市役所表郷庁舎大会議室で『食』と『ふるさと』新生運動県南地方推進本部会議を開催しました。

会議は、平成27年度活動実績の報告、平成28年度活動計画の説明(GAPの取組推進、地元農林水産物の地元での知名度アップの取組、農産物のブランド化など)の後、意見交換を行いました。

意見交換では、首都圏向けには安全性を示すデータを正確に出すこと、若い人向けに放射性物質検査の基準値の決め方などについての情報提供、体験や教育旅行のお客が戻りつつあるので受け皿を整備する必要性、農家の規模拡大・集積に向けて農業施設の老朽化解消などの意見が出されました。

各参加組織の取組が、当地方の農林水産業のけん引力となり、震災を乗り越えた新たな県南地方を創造していくことが期待されます。

(企画部)

目次

◇新生運動県南地方推進本部会議

風評対策

◇「しらかわの春野菜」トップセールス

◇「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン

農林業関係の動き

◇しらかわ震災復興記念植樹祭

◇農業再生協議会連携会議

◇100件目の家族経営協定

コラム

◇八溝山天然林について

お知らせ

◇農地中間管理機構地域マネージャー

◇夏休み森林教室

◇農作業中の熱中症に注意！

◇「食べて、触って 楽しく学ぼう 県南の農林業」バスツアー

◇山菜・野生きのこの出荷に注意

風評対策

■「しらかわの春野菜」トップセールスと春ブロッコリーの販売額



大田市場内で産地側全員集合！

5月9日(月)、10日(火)、東京都大田市場及び日本橋ふくしま館「MIDETTE」で、JA夢みなみの主催による「JA夢みなみ(しらかわ)の野菜安全安心PR・風評払拭イベント」が開催されました。

このイベントは震災後の平成24年から、旧JAしらかわ管内の市町村長などにより、トップセールスとして継続開催されています。

当日は、JAの組合長をはじめ、白河市長や西郷村長、泉崎村長、中島村長、矢吹町長、県南農林事務所長、野菜生産者の代表者、JAしらかわ女性部など大勢が参加し、市場の仲買

人などを対象とした旬のブロッコリー等の試食、「MIDETTE」での春野菜の詰め合わせプレゼントの配付などが賑やかに行われました。

消費地側からは、近年の厳しい運送事情から首都圏に隣接している「しらかわ」への期待が大きく高まっていることや野菜の食味に対する高い評価の声が続きました。

6月中旬時点で、当JAの春ブロッコリーの販売額が約4億6千万円と過去最高レベルに達し、本イベントの成果が大きく表れています。(農業振興普及部)

■「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催



景品の野菜を選ぶ参加者

5月21(土)、JA夢みなみ「り菜あん」において、風評払拭と地産地消の推進のため、第1回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。

今回は、県内の出荷量の8割を占めるブロッコリーをはじめ、トマト、レタスなどの野菜の配布や試食によりPRを行い、地元の農産物への理解を深めていただきました。

お客様からは、「新鮮なブロッコリーはとてもおいしい」「『野菜のちらし寿司』なら子供もたくさん野菜を食べられる」といった感想をいただきました。

(企画部)

○今後の開催予定 【第2回】7月30日(土)10時～13時 道の駅はなわ

【第3回】8月下旬 西郷村直売所(西郷村大字熊倉字折口原)

農林業関係の動き

■第66回地方植樹祭～しらかわ震災復興記念植樹祭～を開催



みどりの誓いを述べる
白河第三小学校緑の少年団の
青木さん(左)と竹内さん(右)

5月31日(火)、白河市の葉ノ木平震災復興記念公園で、白河市緑化推進委員会及び白河市の主催による「第66回地方植樹祭～しらかわ震災復興記念植樹祭～」が行われ、白河第三小学校緑の少年団や関係者等170名が参加しました。

式典では、主催者の式辞・あいさつ、満山喜一県議会副議長、県南農林事務所長、西白河地方町村会の加藤幸一会長(中島村長)の祝辞の後、白河第三小学校緑の少年団の青木梨紗さんと竹内悠斗さんが、力強く緑の誓いを述べました。

式典終了後、参加者は植樹会場に移動し、代表者によるサクラの記念植樹が行われ、続いて参加者全員によるシラカシ、ドウダン、サツキの植樹活動が行われました。

来年は矢祭町で行われる予定です。(森林林業部)

■県南地方農業再生協議会連携会議を開催



会議の様子

6月8日(水)、県白河合同庁舎において、「県南地方農業再生協議会連携会議」の本年度第1回会議を開催しました。

本会議は、各市町村再生協議会間の情報交換を行い、多様な農業担い手の育成と集落営農、農地中間管理事業を推進するため、昨年度立ち上げました。

会議では、担い手育成や農地集積等に係る動きや課題が出されるとともに、県農業振興公社から農地中間管理事業の推進方策及び会津地域における農地中間管理事業を活用した農地集積事例について、白河市人・農地相談センターから同センターの動きについて事例紹介がありました。

当管内は、新規就農者数が過去最高となり担い手確保の動きは顕著ですが、農地集積が進まない地域も多く、今後本会議で集約された課題解決に関係者一丸となって取り組んでいきます。(農業振興普及部)

■100件目の家族経営協定



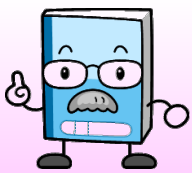
写真右から「高橋矢祭町事業課長」、「益子同町農業委員会長」、「滑川裕之・美恵子さん」、「大波農業振興普及部長」

6月21日(火)、矢祭町で14件目、県南地方で100件目となる家族経営協定の締結式が矢祭町役場で実施されました。

今回、協定を締結されたのは「滑川裕之・美恵子ご夫妻」で、平成元年からカーネーション等の鉢物を大規模に生産しています。鉢物栽培は困難の連続でしたが、町内の若手農業者と研究会を結成し、切磋琢磨しながら経営の発展に努めてこられました。

今回の協定を契機に、新たな視点での経営内容の見直しや新規品目へ挑戦など、さらなる発展が期待されます。

(農業振興普及部)



家族経営協定とは、農業経営に携わる家族内で、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき、取り決めるものです。

家族協定を結ぶことで、家族みんなが主体的に経営に参画し、家族農業が魅力的でやり甲斐のある職となることが期待されます。

コラム

■八溝山天然林について



天然林内で行われた総会

福島県・栃木県・茨城県の3県にまたがる八溝山(標高1,022m)は、山岳信仰が盛んな「修験の山」として栄えました。

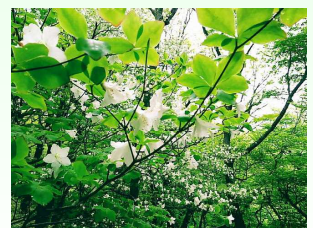
その山頂から2kmほど下ったところに約44haの天然林保存区域があります。

緑が青々と茂る林内には、ブナやヒノキ、ナラなどの大木が群生する原生林的要素を保つ貴重な天然林で、春にはカタクリやヤシオツツジが咲き誇り、秋にはカエデやブナなどの紅葉が美しい、四季折々の顔を見せる森林です。

この天然林は、戦後の木材需要増大を受け豊かな緑が減少していく中

で、人の手の加わっていない原生林を後世に残していきたいという地元住民の方々の想いにより、「八溝山天然林保存会」が結成され、今日まで守られてきたものです。

5月16日(月)には、天然林保存区域内にて八溝山天然林保存会総会が開催されました。参加者は、総会会場まで天然林の中を散策しながら移動し、総会後の昼食では、豊かな自然の中で手作りの豚汁が振る舞われ、思い思いのひとときを楽しんでいました。(森林林業部)



■「農地中間管理機構・添田地域マネージャー活動開始！」

県南地方の農地集積を進めるため、4月より県農業振興公社（農地中間管理機構）の県南推進拠点地域マネージャーとして「添田末次さん」が、当事務所農業振興普及部内に机を並べ、関係機関・団体と連携しながら、昼夜を問わず精力的に活動されています。

添田マネージャーは、長年、白河市役所職員として農政の第一線で活躍されたことから、豊かな経験を活かして現場での農地中間管理事業の推進に当たってまいりますので、どうぞお気軽に御相談ください。

【添田マネージャーの連絡先】携帯電話 080-3754-3069 (農業振興普及部)



添田さん(右)

■夏休み森林教室

森林散策や丸太伐り体験、木工製品づくりなどを行いますので、奮って御参加ください。

○開催日 8月3日(水)

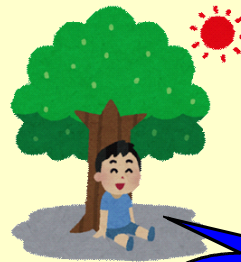
○場 所 棚倉町奥久慈自然公園内「山本公園」

○対 象 東白川郡内の小学生

詳細、お申し込みは、森林林業部(0247-33-2123) または東白川郡町村の教育委員会まで。

(森林林業部)

■農作業中の熱中症に注意！



夏の農作業は、十分な水分・塩分を取りながら暑い時間をなるべく避けましょう！

こまめな休憩も大切



(農業振興普及部)

■「食べて、触って 楽しく学ぼう 県南の農林業」バスツアー

農林水産物の安全確保に向けた取組の見学、生産者の皆さんとの交流、農林水産物の収穫体験など、親子で楽しみながら学べるツアーです。

夏休みの思い出作りに、学校の自由研究に、参加をお待ちしています。

○開催日 8月19日(金)

○集 合 JR白河駅前 8:30

○対 象 県内の親子(小学生)

○参加費 無料

詳細については、現在調整中です。

参加募集の詳細が決まりましたら、県南農林事務所のホームページ等でお知らせいたします。

(企画部)



■山菜・野生きのこの出荷に注意してください！！

国から出荷制限指示を受けている須賀川市産のたけのこが郡山市の直売所で出荷・販売されるといふ事案が6月7日に発生しました。

県南地方におきましては、下表のとおり出荷の制限指示が出されておりますので、再度確認のうえ、出荷制限品目が出荷されないよう留意願います。

品目	市町村
たけのこ	白河市、西郷村
たらのめ (野生の物に限る)	白河市、西郷村、泉崎村、 塙町、鮫川村
わらび	鮫川村
こしあぶら	全市町村
野生きのこ	全市町村(棚倉町は摂取も制限)

(森林林業部)

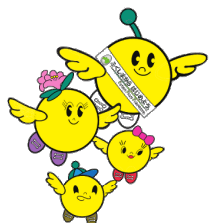
農林業に関する相談などお気軽に御連絡ください！

福島県県南農林事務所 企画部

〒 :961-0971

住所:福島県白河市昭和町269[白河合同庁舎]

電話:0248-23-1577



ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.

平成28年7月8日発行